

(2020年度)

数学問題(60分)

(この問題冊子は7ページ、3問である。)

受験についての注意

1. 試験監督者の指示があるまで、問題冊子を開いてはならない。
2. 試験開始前に、試験監督者から指示があつたら、解答用紙の右上の番号が自分の受験番号と一致することを確認し、所定の欄に氏名を記入すること。次に、解答用紙の右側のミシン目にそって、きれいに折り曲げてから、受験番号と氏名が書かれた切片を切り離し、机上に置くこと。
3. 試験監督者から試験開始の指示があつたら、この問題冊子が、上に記したページ数どおりそろっていることを確かめること。
4. 筆記具は、HかFかHBの黒鉛筆またはシャープペンシルに限る。万年筆・ボールペンなどを使用してはならない。時計に組み込まれたアラーム機能、計算機能、辞書機能を使用してはならない。また、スマートウォッチなどのウェアラブル端末を使用してはならない。
5. 解答は、解答用紙の各問の選択肢の中から正解と思うものを選んで、そのマーク欄をぬりつぶすこと。
6. マークをするとき、マーク欄からはみ出したり、白い部分を残したり、文字や番号、○や×をつけたりしてはならない。また、マーク箇所以外の部分には何も書いてはならない。
7. 訂正する場合は、消しゴムでていねいに消すこと。消しきずはきれいに取り除くこと。
8. 解答用紙を折り曲げたり、破ったりしてはならない。
9. 試験監督者の許可なく試験時間中に退場してはならない。
10. 解答用紙を持ち帰ってはならない。
11. 問題冊子、計算用紙は必ず持ち帰ること。
12. この問題冊子の余白を計算用紙として使用してよい。

マークによる数値解答欄についての注意

解答欄の各位の該当する数値の欄にマークせよ。その際、はじめの位の数が0のときも、必ずマークすること。

符号欄がもうけられている場合には、解答が負数の場合のみーにマークせよ。
(0または正数の場合は、符号欄にマークしない。)

分数は、既約分数で表し、分母は必ず正とする。また、整数を分数のかたちに表すときは、分母を1とする。根号の内は、正の整数であって、2以上の整数の平方でわりきれないものとする。

解答が所定欄で表すことができない場合、あるいは二つ以上の答が得られる場合には、各位の欄ともZにマークせよ。(符号欄がもうけられている場合、ーにはマークしない。)

[解答記入例] に7, イに-26をマークする場合。

		10 の 位										1 の 位												
		符 号	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	Z	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	Z
ア	ー	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	
	イ	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	

[解答表示例]

$-\frac{3}{2}$ を、 $\frac{\boxed{}}{\boxed{}}$ にあてはめる場合 $\frac{-3}{2}$ とする。

0 を、 $\frac{\boxed{}}{\boxed{}}$ にあてはめる場合 $\frac{0}{1}$ とする。

$-\frac{\sqrt{3}}{2}$ を、 $\frac{\boxed{}}{\boxed{}} \sqrt{\boxed{}}$ にあてはめる場合 $\frac{-1}{2} \sqrt{3}$ とする。

$-x^2 + x$ を、 $\boxed{} x^2 + \boxed{} x + \boxed{}$ にあてはめる場合
 $\boxed{-1} x^2 + \boxed{1} x + \boxed{0}$ とする。

- 1** (1) $73x + 61y = 1$ を満たす整数 x, y の組のうち, y が正で最も小さいものは

$$x = \boxed{\text{ア}}, y = \boxed{\text{イ}}$$

であり, x が正で最も小さいものは

$$x = \boxed{\text{ウ}}, y = \boxed{\text{エ}}$$

である。

- (2) 実数 a, b が $0 < a < b < \frac{1}{a} < b^2$ を満たすとき, **あ** ~

え に選択肢 (a) ~ (d) の中から正しいものを選んでマークせよ。

(i) $x = \log_a b, y = \log_a b^2$ のとき, **あ**。

(ii) $x = \log_a ab, y = 0$ のとき, **い**。

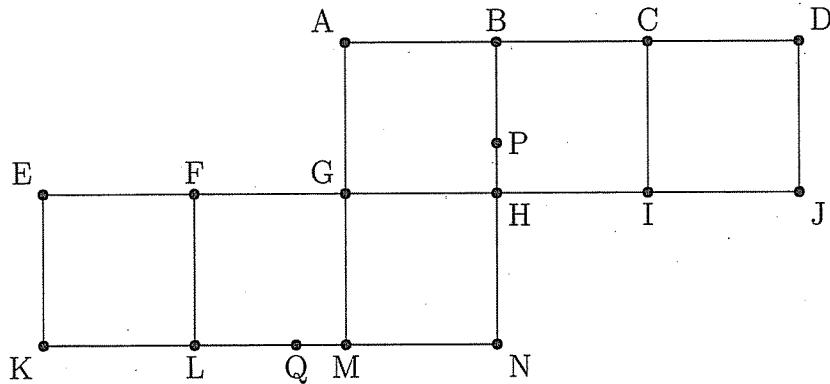
(iii) $x = \log_a b^2, y = \log_{\frac{1}{a}} b$ のとき, **う**。

(iv) $x = \log_b \frac{b}{a}, y = \log_a \frac{a}{b}$ のとき, **え**。

あ ~ **え** の選択肢:

- (a) $x < y$ が必ず成り立つ
- (b) $x > y$ が必ず成り立つ
- (c) $x = y$ が必ず成り立つ
- (d) $x < y$ が成り立つことも $x > y$ が成り立つこともあり得る

- 2 次の立方体の展開図を組み立てる。立方体の一辺の長さは 6 であり、点 P は辺 BH を 2 : 1 に内分する点、点 Q は辺 LM を 2 : 1 に内分する点である。



- (1) この展開図を組み立てたとき、点 B と一致する点は お で
あり、点 D と一致する点は か である。
- (2) 立方体の表面を通る P から Q への経路の長さの最小値は き である。
- (3) 3 点 A, L, P を通る平面を α とする。立方体を平面 α で切断する
とき、その断面は ク であり、断面の面積は オ $\sqrt{\text{カ}}$ である。
- (4) 3 点 A, P, Q を通る平面を β とする。立方体を平面 β で切断す
るとき、その断面は ケ であり、断面の周の長さは

$$\boxed{\text{キ}} \sqrt{\boxed{\text{ク}}} + \boxed{\text{ケ}} \sqrt{\boxed{\text{コ}}}$$

 である。ただし、 ク < コ とする。

お , か の選択肢 :

- (a) A (c) C (e) E (f) F (g) G
(h) H (i) I (j) J (k) K (l) L (m) M (n) N

き の選択肢 :

- (a) 6 (b) 8 (c) 12 (d) 16 (e) 20
(f) $8\sqrt{2}$ (g) $4\sqrt{10}$ (h) $4\sqrt{13}$ (i) $2\sqrt{34}$ (j) $4 + 6\sqrt{2}$

く , け の選択肢 :

- (a) 正三角形
(b) 直角二等辺三角形
(c) (a)(b) 以外の二等辺三角形
(d) (b) 以外の直角三角形
(e) (a)(b)(c)(d) 以外の三角形
(f) 正方形
(g) (f) 以外の長方形
(h) (f)(g) 以外の平行四辺形
(i) (f)(g)(h) 以外の四角形
(j) 五角形
(k) 六角形

3 関数 $f(x) = x^2 - 4x + 2$ を考える。

実数 t に対し, $t \leq x \leq t+3$ の範囲における $f(x)$ の最小値を $g(t)$ とすると,

$$g(t) = \begin{cases} \boxed{\text{こ}} & (t \leq \boxed{\text{サ}} \text{ のとき}) \\ \boxed{\text{さ}} & (\boxed{\text{サ}} \leq t \leq \boxed{\text{シ}} \text{ のとき}) \\ \boxed{\text{し}} & (\boxed{\text{シ}} \leq t \text{ のとき}) \end{cases}$$

である。

また, 正の実数 s に対し,

$$G(s) = 3 \int_s^{s+1} g(t) dt$$

とするとき,

$$G(s) = \begin{cases} \boxed{\text{す}} & (0 < s \leq \boxed{\text{ス}} \text{ のとき}) \\ \boxed{\text{せ}} & (\boxed{\text{ス}} \leq s \leq \boxed{\text{セ}} \text{ のとき}) \\ \boxed{\text{そ}} & (\boxed{\text{セ}} \leq s \text{ のとき}) \end{cases}$$

である。

こ ~ し の選択肢 :

- (a) -2 (b) 0 (c) 2 (d) 3
(e) $t - 2$ (f) t (g) $t + 2$ (h) $t + 3$
(i) $t^2 - 10t + 23$ (j) $t^2 - 6t + 7$ (k) $t^2 - 4t + 2$
(l) $t^2 - 2t - 1$ (m) $t^2 - 2$ (n) $t^2 + 2t - 1$
(o) $t^2 + 4t + 2$ (p) $t^2 + 6t + 7$

す ~ そ の選択肢 :

- (a) -6 (b) 0 (c) 3 (d) 6
(e) s (f) $s + 1$ (g) $3s$ (h) $3s + 3$
(i) $s^2 + 2s - 1$ (j) $s^2 - 4s + 2$ (k) $s^2 - 6s + 6$
(l) $3s^2 - 9s + 1$ (m) $3s^2 - 3s + 1$ (n) $3s^2 + 3s + 1$
(o) $s^3 - 3s^2 - 3s + 5$ (p) $s^3 - 3s^2 + 3s - 7$